



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6430 URL <https://www.daikoku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大上 誠一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,643	31.0	1,302	49.3	1,421	41.4	912	43.1
2019年3月期第2四半期	14,230	△20.9	872	132.6	1,005	103.7	637	115.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 911百万円(47.0%) 2019年3月期第2四半期 620百万円(89.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	61.71	—
2019年3月期第2四半期	43.12	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,888	30,366	69.2
2019年3月期	43,729	29,898	68.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 30,366百万円 2019年3月期 29,898百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	9.1	1,200	△21.5	1,250	△28.5	800	△36.7	54.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	14,783,900株	2019年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	868株	2019年3月期	840株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	14,783,054株	2019年3月期2Q	14,783,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、米国の保護主義的な政策による貿易摩擦への懸念や中国経済の先行きなど、海外経済の不確実性により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」、「ギャンブル等依存症対策基本法」、受動喫煙対策を強化する「改正健康増進法」への対応により、新規出店や大規模改装等への設備投資を控える傾向が強まっており、当業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が継続しております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、6月にリリースした新製品AIホールコンピュータ「X(カイ)」の提案を行い、既存ホールコンピュータ「CII」からのシステムアップによる入替を推進しました。

また、顔認証とセキュリティを融合させたFACEセキュリティ機能を搭載したCRユニット「VEGASIAⅢ」の拡販、及びパチスロ6号機のヒット機種に対応した専用のコンテンツを搭載したファン向け情報端末「BIGMO PREMIUMⅡ」の提案を引き続き行うとともに、周辺エリアの集客状況を表示する商圈分析サービス「Market-SIS」の普及に努めました。

7月には今年で16年目を迎えた「DK-SIS白書」2019年版(2018年データ)発刊の記者発表を行いました。本書はパチンコホールから日々送信される約147万台の営業データを集計・分析したもので、業界関係者には変化し続けるパチンコ業界の実状と今後の動向予測を掲載した業界の指標として活用いただいております。

制御システム事業におきましては、開発工程の効率化による品質向上と開発コスト削減の両立に引き続き取り組むとともに、専門技術を有する企業とのアライアンスに取り組むなど、新しい技術を活用した企画・製品提案をパチンコ遊技機全体に広げる活動を推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高186億43百万円(前年同期比31.0%増)、営業利益13億2百万円(同49.3%増)、経常利益14億21百万円(同41.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億12百万円(同43.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (情報システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、新規出店や大規模改装等が少なく、パチスロ主力機種の認定切れによる撤去期限を年末に控え、設備投資への意欲が低下する厳しい市場環境が継続するなか、セキュリティ機能が引き続き評価されたCRユニット「VEGASIAⅢ」、及び大手企業への導入が継続しているファン向け情報端末「BIGMO PREMIUMⅡ」、「REVOLA」においては前年同期を大きく上回る実績となりました。

また、AIホールコンピュータ「X(カイ)」への入替も順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は149億8百万円(前年同期比34.6%増)、セグメント利益は23億9百万円(同65.0%増)となりました。

(制御システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、大型タイトルで採用されたパチンコ遊技機向け制御ユニット及び部品販売は好調に推移しましたが、表示ユニットの販売が前年同期を下回る厳しい状況となったことで、利益が大幅に減少しました。

この結果、当事業の売上高は37億50百万円（前年同期比18.2%増）、セグメント損失は66百万円（前期セグメント利益3億35百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、たな卸資産及び開発回収金に伴う未収入金の減少や、固定資産の減価償却費の計上が大きかったことなどにより有形固定資産及び無形固定資産が減少しましたが、売上が好調に推移したことにより現金及び預金が増加しました。この結果、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加の438億88百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の負債は、経営成績が好調に推移したことにより未払法人税等が増加しましたが、研究開発費及びソフトウェアに関する未払金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少の135億22百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の純資産は、配当金の支払額よりも親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が大きかったことにより利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ4億68百万円増加の303億66百万円となりました。自己資本比率は69.2%（前連結会計年度末比0.8ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績は当初予想に比べて好調に推移いたしましたが、通期連結業績予想につきましては年初の予想数値を据置いております。

情報システム事業においては下期も引き続き堅調に推移することが見込まれますが、制御システム事業にて、旧規則パチスロ遊技機の認定切れに伴う、新規規則パチスロ遊技機への置換えによる当社パチンコ遊技機向け表示ユニット販売への影響など、先行き不透明な状況が継続することが予想されます。これらの状況を勘案した結果、2019年5月14日に発表の通期連結業績予想からの修正は行っておりません。

今後修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,751,427	15,193,081
受取手形及び売掛金	5,330,899	4,725,521
電子記録債権	2,078,824	1,836,832
商品及び製品	4,244,638	3,872,397
仕掛品	42,988	34,064
原材料及び貯蔵品	871,688	746,362
その他	1,079,385	844,396
貸倒引当金	△2,195	△2,138
流動資産合計	26,397,656	27,250,516
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,929,790	3,836,282
土地	4,162,117	4,162,117
その他（純額）	1,544,129	1,260,964
有形固定資産合計	9,636,036	9,259,364
無形固定資産		
ソフトウェア	3,814,911	3,587,915
その他	33,148	34,898
無形固定資産合計	3,848,060	3,622,813
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,169,233	1,066,178
投資不動産（純額）	919,062	910,807
その他	1,918,639	1,925,695
貸倒引当金	△159,220	△146,876
投資その他の資産合計	3,847,714	3,755,804
固定資産合計	17,331,812	16,637,982
資産合計	43,729,468	43,888,499

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,860,174	2,373,611
電子記録債務	3,091,415	3,708,990
短期借入金	3,000,000	3,000,000
未払法人税等	245,352	429,579
役員賞与引当金	60,634	53,400
製品保証引当金	12,871	8,882
株主優待引当金	38,311	121,711
その他	3,031,203	2,334,868
流動負債合計	12,339,962	12,031,043
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
役員退職慰労引当金	357,968	356,043
退職給付に係る負債	521,268	524,567
その他	312,187	310,406
固定負債合計	1,491,424	1,491,018
負債合計	13,831,386	13,522,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	28,688,969	29,157,720
自己株式	△1,606	△1,648
株主資本合計	30,041,371	30,510,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,536	16,728
退職給付に係る調整累計額	△174,826	△160,370
その他の包括利益累計額合計	△143,289	△143,642
純資産合計	29,898,081	30,366,438
負債純資産合計	43,729,468	43,888,499

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,230,227	18,643,040
売上原価	8,507,384	11,960,129
売上総利益	5,722,842	6,682,911
販売費及び一般管理費	4,850,398	5,379,932
営業利益	872,444	1,302,978
営業外収益		
受取利息	5,272	15
受取配当金	10,736	8,564
不動産賃貸料	41,014	39,358
受取分配金	50,415	77,933
その他	55,459	21,730
営業外収益合計	162,899	147,602
営業外費用		
支払利息	5,614	5,770
不動産賃貸費用	22,959	23,152
その他	1,606	230
営業外費用合計	30,180	29,153
経常利益	1,005,163	1,421,428
特別利益		
固定資産売却益	—	596
特別利益合計	—	596
特別損失		
固定資産除却損	1,223	9,424
減損損失	3,927	7,539
会員権評価損	2,850	—
その他	1,698	2,138
特別損失合計	9,699	19,103
税金等調整前四半期純利益	995,464	1,402,922
法人税、住民税及び事業税	198,595	387,469
法人税等調整額	159,368	103,210
法人税等合計	357,964	490,679
四半期純利益	637,499	912,242
親会社株主に帰属する四半期純利益	637,499	912,242



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	637,499	912,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,274	△14,808
退職給付に係る調整額	19,030	14,455
その他の包括利益合計	△17,243	△352
四半期包括利益	620,255	911,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	620,255	911,889

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,077,727	3,152,500	14,230,227	—	14,230,227
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	20,960	20,960	△20,960	—
計	11,077,727	3,173,460	14,251,187	△20,960	14,230,227
セグメント利益	1,399,590	335,270	1,734,861	△862,416	872,444

(注) 1 セグメント利益の調整額△862,416千円には、セグメント間取引消去2,992千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△865,409千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「情報システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、3,927千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,908,377	3,734,663	18,643,040	—	18,643,040
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	15,450	15,450	△15,450	—
計	14,908,377	3,750,113	18,658,490	△15,450	18,643,040
セグメント利益又は損失(△)	2,309,350	△66,018	2,243,332	△940,353	1,302,978

(注) 1 セグメント利益の調整額△940,353千円には、セグメント間取引消去4,248千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△944,602千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、7,539千円であります。